

引原ダム再生事業

News: 「機械設備工事」の工事内容は?

「ダム再生通信」をご覧の皆様へ

日頃より引原ダム再生事業にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、引原ダム再生事業の一環として、機械設備工事を担当させていただくことになりました、豊国工業株式会社です。

工事にあたり、地域の皆さまへの影響をできる限り抑えながら、安全かつ円滑に進めてまいります。何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(豊国工業株式会社)

工事概要

工事名: (一) 揖保川水系 引原川 引原ダム
引原ダム放流設備製作据付工事

工期: 自 令和7年10月15日
至 令和13年3月25日

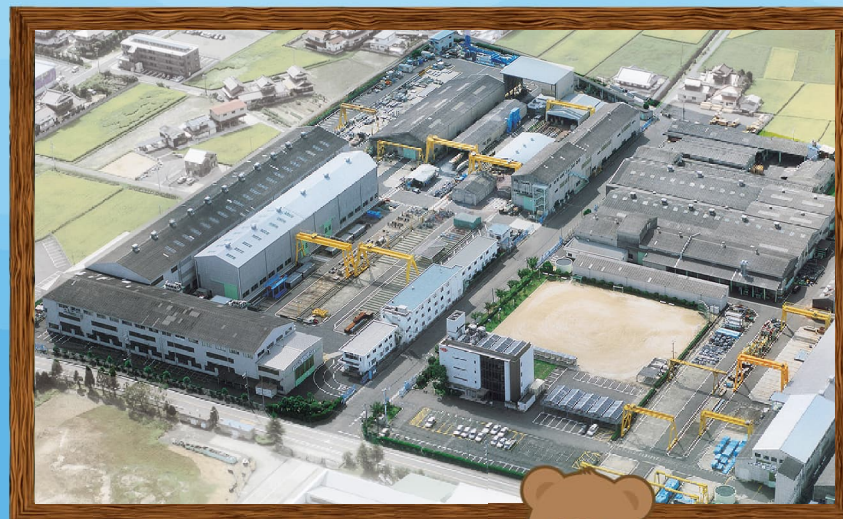
施工内容:

コンジット主ゲート	1門
コンジット予備ゲート	1門
放流管	1条
クレストゲート	2門
クレスト修理用ゲート	2門
仮締切(浮体式)設備	1門

放流能力を高めるために、新たにコンジット放流設備を設置し、堤体のかさ上げに合わせて、より大きくなった新しいクレストゲートへと更新します。

請負者: 豊国工業株式会社

工場写真



広島県にある当社工場の航空写真です。この工場で製品を製作して現地に輸送します。



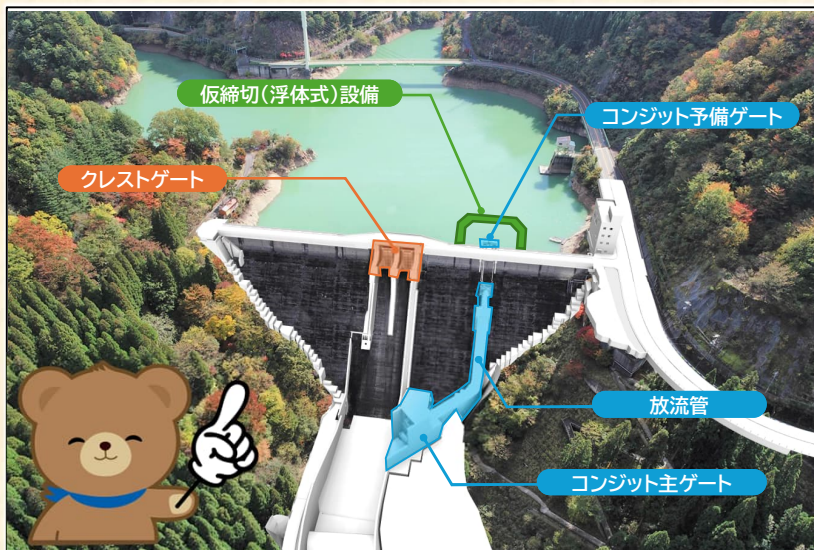
豊国工業
マスコットキャラクター
ほうこくま

ダムに設置するゲートについて

橙:クレストゲート更新

青:コンジット放流設備新設

緑:仮締切設備据付撤去



設備の役割

【クレストゲート】

ダムの堤頂部に設置されるゲートです。名前の「クレスト」とはダムの堤頂部(最上部)のことです。異常洪水時にダム天端からの越流を防ぐための非常用ゲートとして使用されます。

【コンジット主ゲート】

ダムの堤体の下の方に設置される洪水時に放流量を調整するゲートです。名前の「コンジット」は「導管」や「水路」という意味があります。水圧が高くなる場所に設置されているため、非常に頑丈な構造となっています。

【コンジット予備ゲート】

通常の運用時に動かすことはありませんが、コンジット主ゲートの点検時や異常が発生した場合に、ダム堤体上流面で止水するための設備です。

【仮締切(浮体式)設備】

仮設のコの字型の囲い(仮締切)を堤体上流面に据え付けて内部の水を抜きます。これにより、ダム湖に水を貯めた状態でも工事区域に水を流すことなく安全に工事を行うことができるため、仮締切据付後に土木工事にてダムを貫通する穴を開け、機械設備を据え付けます。